

本件番組（乙1）／下線（原告追加）	視聴者の観点	真実との相違
<p><u>原告「焼骨式」の映像</u> <u>字幕：戦没者遺骨収集事業</u> NHKが独自に入手した映像。去年フィリピンで発掘された日本兵のものとされる遺骨だ。日本政府が推し進める戦没者の遺骨収集事業。 しかしこの中に、フィリピン人の遺骨が大量に含まれているという「疑惑」が、今、持ち上がっている。</p>	<p>通常、見られない映像を隠れ見ている感覚。</p> <p>日本の戦没者遺骨収集事業の中に、フィリピン人の遺骨が大量に含まれているという疑いがある。大変なことが起きている。</p>	<p>本当は、取材申込みさえ有れば、撮れる映像である。</p> <p>この映像の「焼骨式」は、日本政府の遺骨収集事業のものではない。</p> <p>本当のところ、疑惑はごく一部の人間たちのものであるのに、遺骨混入が、大量であることを視聴者に強く印象付けている。</p>
<p><u>番組オープニング映像</u></p>	<p>現場を奔走する記者のイメージ</p>	
<p><u>千鳥ヶ淵戦没者墓苑「拝礼式」の映像</u> 先の大戦中、海外で死亡した身元不明の兵士らの遺骨を納める千鳥ヶ淵戦没者墓苑。今年もまた戦没者への慰霊が厳粛に執り行われた。終戦から65年をへても、消えることのない遺族の悲しみ。</p> <p><u>千鳥ヶ淵戦没者墓苑の映像</u> 祈りの先にあるのは、果たして日本兵の遺骨なのか。 戦没者遺骨収集事業の闇を追った。</p>	<p>各戦争や遺族に対するそれぞれの思い。</p> <p>墓苑に入っている遺骨は、日本兵のもので無いのか。 遺族の思いを踏みにじるものだ。</p>	<p>真実：墓苑の遺骨は、日本兵のものである。</p>
<p>字幕タイトル 「“疑惑の遺骨”を追え ～戦没者遺骨収集事業の闇～」</p>	<p>戦没者遺骨収集事業には、闇（隠された悪い）部分がある。 闇とは、どんなものなのか、これから始まることへの期待。</p>	<p>本当は、原告の遺骨収集事業に、闇の部分は無いにもかかわらず、疑惑の骨が有ることを強調断定して、</p>

		<p>闇の無いところに、闇を作り出している。</p>
<p>字幕：戦没者遺族の疑念 フィリピン人の遺骨が日本兵の遺骨に含まれている。その疑惑を指摘する遺族がいると聞いて訪ねました。</p> <p>【NHK 鎌田解説委員】(音声：日本語) 『ごめんください。NHKの鎌田と申します』</p> <p>亀井亘さん、67歳。フィリピン戦戦没者の慰霊会、副会長を務めています。父親の正美(まさみ)さんの遺骨を探すために、フィリピン各地を100回近く訪ねてきたといいます。</p> <p>【亀井氏】(音声：日本語) 『ここにワンワンという村が・・・』</p> <p>2年ほど前から、フィリピン人の遺骨が盗まれ日本兵の遺骨として売られているという話を聞くようになったと言います。</p> <p>【亀井氏】(音声：日本語) 字幕「ブーンビジネス」 『ブーンビジネスみたいになっているよという話を、実は友達から聞いたものですから(鎌田：ブーンというと骨ですよね。)現地ですらそういう話を私も聞いて、他の人からも2、3回聞いたもんですからね。いやこれは大変なことをやりだしたな 戦没者を本当に愚弄した行いですよ こんなことで戦没者は喜びませんからね』</p>	<p>遺族からの指摘なのだ。確からしい、被害者からの訴え。</p> <p>疑惑を呈しているのは、社会的地位のある人である。何度もフィリピンに足を運んで、遺骨収集に詳しい人である。</p> <p>最近の話である。盗難遺骨が日本兵として売られているという話は、実際に有るのだ。</p> <p>戦没者の遺骨を売り買いしているのは、許せない。遺骨をビジネスにすることは、酷い。</p> <p>亀井氏に同調。</p>	<p>(「疑惑」は遺族の証言であるという、客観性を持たせる手法)</p> <p>実は、亀井氏は、フィリピンで、「事業」を行っているのである。</p> <p>実は、「ブーンビジネス」というのは、亀井氏の思い込み、或いは、被告による「やらせ」の疑いあり。</p>

<p>日本兵の遺骨を巡って一体何が起きているのか。私たちは、現地で真相を追跡することにしました。</p>	<p>追跡への期待。</p>	
<p><u>字幕:遺骨盗難に揺れる村</u> 9月初旬。追跡チームはフィリピン・ルソン島北部の村に向かった。そこで「遺骨の盗難騒動」が起きているという。首都マニラから車で15時間。深い山間に、目的地「ワンワン村」はあった。人口900人のこの小さな村で、去年から『墓が暴かれ遺骨が盗まれている』という事態が続発しているらしい。75歳のこの男性も先祖の墓から遺骨を持ち去られた。村では、山の中に作った「ほこら」に遺骨を納め、家族の守り神にしている。去年の暮れ、盗難が起きているという噂を聞き、この墓に駆けつけると既に遺骨は盗まれた後だった。</p>	<p>「遺骨の盗難騒動」が実際に起きている村があるのだ。 辺鄙な地方の村。 小さな村で『墓が暴かれ遺骨が盗まれている』という事態が続発し沢山起きている 素朴で人のよさそうなフィリピン人 盗難は、実際に有ったのだ。</p>	<p>実は、盗難事件は、数件で、続発しているわけでは無い。 実は、遺骨の盗難の噂を教えたのは、日本人。</p>
<p>【村人】(音声:現地語)略 (字幕:日本語)『誰がこんなひどいことをするのでしょうか』</p>	<p>遺骨を盗まれた人への強い同情。</p>	
<p><u>凜々しく見える村長の映像</u> 村長に話を聞くことにした。この1年で、100体近くの遺骨が、村周辺の墓から持ち去られているという。 【ワンワン村 ブフォン村長】(音声:現地語)略 (字幕:日本語) 『隣村の連中が骨を掘り出しているという話が有ったのでー 「彼らが犯人じゃないか」と疑ったのです』</p>	<p>数多く(100体)の遺骨が盗まれている。 犯人は、隣村の住人か。</p>	<p>本当のところ、盗難件数は、数件。 一部、騒いでいる人々は居るが、警察などに届は出ていない。 村長は、最初は隣村を疑ったが、後で、実は、誤解だと判明していた。</p>

『そこで隣村の村長を問いただすと「盗んではないがー掘り出した骨はすべて日本のグループに渡した」と言っていた』	骨が、日本のグループにわたっている。	本来、盗難事件と、日本グループ骨を渡した話は、全く別物である。
盗まれた遺骨が「日本のグループ」に渡っているというのは本当か。 隣村に行ってみることにした。	盗まれた遺骨が「日本のグループ」に渡っているのか。 近くの隣村に行った。	事実、村長は、盗難遺骨では無く、別に「掘り出した骨だ」と言っているにもかかわらず、無理やり、盗難遺骨のイメージを強調させた展開 実は、隣村までは、車で数時間はかかり、かなり距離が離れており、骨を盗みに隣村に行くのは、非常に困難である。
<p><u>アバタン村</u> 丸一日聞き込んだが、遺骨を盗んだ人物を見つけることは出来なかった。しかし、遺骨を日本のグループに渡してお金を得たという男性に出会うことが出来た。</p> <p>字幕「空援隊」 男性は、去年、「空援隊」という日本のグループが「日本兵の遺骨」を集めていることを知った。「遺骨を見つけるとお金をくれる」というのだ。男性はすぐに、骨を探し、空援隊のもとに持っていった。骨を見つけたのは山奥の洞窟。「日本兵とフィリピン人の遺骨が混じって放置されている」と祖父から聞かされていた。</p>	<p>貧しそう村。 しっかり精力的に取材をしている。 やはり、日本人に遺骨を売った人物は居た。</p> <p>貧しそうな男性。 地図を出して説明し、取材に協力的な態度。 山奥の洞窟には、日本兵とフィリピン人の遺骨が混じって放置されていた。</p>	<p>真実は、骨の売買では無く、労働報酬。</p> <p>本当は、地図は、被告のもの。 洞窟は、村の日本人墓地というのが真相。 本当は、男性は、日本人の骨が埋まっていると、祖父から聞かされていた。</p>
【アバタン村民】(音声:現地語)略		

<p>(字幕:日本語)『「全てが日本人のものかどうか分からない」と伝えましたが何も聞かずに「1・2・3・・・」と数え始めたのです』</p> <p>『そして「48 体」という結果が出て、一つもはじかれませんでした』</p> <p>『つまり「すべて日本人の骨」ということになったんです』</p> <p><u>字幕:24000 ペソ</u></p> <p>男性は、「労賃」という名目で遺骨一体あたり500ペソ、計 24000 ペソを手に入れた。</p>	<p>男性は、日本人のものかどうか分からないと、きちんと伝えたのに、空援隊は、それを確かめもせず、数だけ数えて、日本人の骨として、受け取って行った。</p> <p>男性は、「労賃」という名目で遺骨一体あたり500ペソ、で骨を売った。</p>	<p>本当は、男性は、「私には、証明は出来ないが、持って行ってもらったのだから、それは日本人の骨に違いない。」と言ったのであるが、被告の編集により、事実が変更されている。</p> <p>実際のところ、あくまでも「労賃」であり、一体あたりの売買では無い。</p>
<p><u>映像:軒に張られた空援隊のステッカー</u></p> <p>空援隊から受け取ったのは、日本円にしておよそ5万円。年収の半分に相当する大金だった。</p>	<p>男性は、骨を売って、年収の半分という大金を受け取った。空援隊は、多額の金で遺骨を買っている。</p>	<p>実は、24000 ペソは、彼とその仲間数人分の日当である。</p>
<p><u>字幕:遺骨収集がなぜ民間に</u></p> <p>フィリピンで遺骨収集事業を進める「空援隊」。去年、国から全面委託されフィリピンで活動を行う NPO 法人です。</p> <p>なぜ国は、遺骨収集事業を民間団体に委託したのか。</p>	<p>空援隊は民間組織。</p> <p>去年から、遺骨収集事業をしている。</p> <p>どことなく軽いイメージ</p> <p>何故、民間になったのか。</p>	<p>本当のところ、全面委託では無い。</p> <p>原告は、平成 17 年から、遺骨収集に関わり、遺骨収集のために設立された専門の NPO である。</p>
<p><u>字幕:戦没者 240 万人</u></p> <p>先の大戦で、240万人もの日本人が海外で亡くなりました。国は、昭和27年から、戦友会など戦争体験者とともに直接現場に出向いて、遺骨収集を行ってきました。</p> <p><u>字幕:114 万体の遺骨</u></p> <p>しかし、関係者の高齢化とともに情報が集まらなくなり、収集される「遺骨」が減少。今も海外に残る 114 万体の遺骨をどうするのか、大きな課題となっている</p>	<p>元々は、戦友会など戦争体験者とともに、直接現場に出向いて、精力的に、遺骨収集を行ってきた。</p> <p>最近では、情報が少なく、減少して来ている。</p> <p>政府は、打開策を求められていた。</p>	

<p>ました。 事業を主管する厚生労働省が、打開策として考えたのが現地の事情に詳しい民間団体への委託でした。</p>	<p>そこで、安易に、現地事情に詳しいというだけの民間団体へ委託した。</p>	<p>実は、原告は、平成18年に設立された遺骨情報収集専門のNPOであり、現地事情だけでなく、遺骨収集に詳しい団体なのに、敢えて、視聴者に知らせていない。</p>
<p>委託を受けた「空援隊」は、それまでとは全く違う収集方法を取り入れました。</p>		<p>事実、労賃は、労働の対価であり、遺骨を買っているわけではない。</p>
<p><u>図式:「遺骨」⇔「労賃」</u> フィリピン各地に支部を設置。現地のフィリピン人に協力を求め、遺骨を収集してもらいます。そして、「労賃」という形で遺骨と引き換えにお金を支払うことにしたのです。</p>	<p>労賃という形で、遺骨と引き換えにお金を渡している。金で、骨を集めている。</p>	<p>敢えて、以前の収集数が多かった頃の数字を隠したグラフ。 実は、7740体は昨年の実績であり、委託費は2450万円だった。 真実は、実績が認められたのは厚生労働省であり、予算の倍増した委託事業を原告は再度企画公募で請け負ったもの。委託費が倍増したのは、原告だけでなく、他の実績の無い団体も同様に増えている。</p>
<p><u>字幕:空援隊との遭遇</u> 追跡チームがフィリピンに入って4日目。その空援隊と、ワンワン村で遭遇した。 住民に、日本兵の遺骨収集への協力を呼びかけるために来たという。</p>	<p>いよいよ、現場で、空援隊に出くわした。 怪しげなスタッフ。 夜の緊迫した空気。</p>	<p>実は、原告は、数日前に、既に説明会を平和</p>

<p>2日に渡って行われた空援隊と住民との話し合い。</p>	<p>2日間にもわたって、話し合いがもたれる程、大きな問題。</p>	<p>に終えている。 話し合いは、原告と住民だけでは無く、実は、冒頭の亀井氏がその場にいた。</p>
<p>【空援隊スタッフ】(音声:日本語) 『僕は空援隊のスタッフです』</p> <p>村の住民からは、「盗まれた遺骨が、空援隊に渡っている」という非難の声が相次いだ。</p> <p>【ワンワン村村民】(音声:現地語)略 (字幕:日本語)『骨を遺族に無断で勝手に持ち出すのは犯罪です この問題を解決すべきだ』</p> <p>【空援隊スタッフ】(音声:英語) (字幕:日本語)『私たちが疑われているのは知っています でも私たちだと決めつけしないでください』</p> <p>【ワンワン村村民】(音声:現地語)略 (字幕:日本語)『一つだけ質問させてください 集めた骨を(フィリピン人のものではないと)どうやって判別するんですか』</p> <p>【空援隊スタッフ】(音声:日本語) 字幕:宣誓供述書 『みなさんからいただいた宣誓供述書 それに基づいてやっています』</p>	<p>空援隊が印象付けられる。</p> <p>空援隊には、それだけ非難される理由がる。 空援隊盗難遺骨が渡っているのは、本当らしい。</p> <p>非難されている空援隊。</p> <p>苦しい言い訳をする空援隊。</p> <p>そうだ、遺骨の判別は、どのようにしているのか。</p> <p>宣誓供述書とは？ (強制認識)</p>	<p>実際のところ、一部の村民から質問の声があっただけ。 疑惑を騒いでいるのは、亀井氏とその子飼、及び被告である。</p> <p>(音声:現地語) 実は、原告は、まだワンワン村で遺骨収集を行ってないので、本来、盗難事件とは無関係である。</p>
<p><u>原告スタッフのストップモーション映像</u> 字幕:宣誓供述書 <u>発見した場所・状況</u></p>	<p>宣誓供述書という、遺骨発見者の証言を基に、発見された場所や状況など「日本兵の</p>	<p>実は、宣誓供述書は、発見者や行政区長、弁護士が署名サイン</p>

<p><u>日本兵と認められる理由</u> 空援隊がいう「宣誓供述書」。遺骨発見者の証言を基に、発見された場所や状況など「日本兵の骨」と認められる理由が、詳しく書かれているという。</p>	<p>骨」と認められる理由が、詳しく書かれているものが、あるらしいが。</p>	<p>している法的文書。「詳しく書かれている」という被告の説明が間違っている。</p>
<p>追跡チームは、再びとなり村を訪ねた。空援隊から 24000 ベソを受け取った男性に「宣誓供述書」について聞いた。</p> <p>【アバタン村民】(音声:現地語)略 (字幕:日本語)『「宣誓供述書」なんて書いていません 書いたのは村長です』</p> <p>『でも骨を山で見つけたのか洞窟で見つけたのかなどー 詳しいことは村長に説明していませんけど』</p> <p>【NHK 側スタッフ】(音声:現地語)略 (字幕:日本語)『じゃあ見つけた場所は言っていないのですか』</p> <p>【アバタン村民】(音声:現地語)略 (字幕:日本語)『言ってません』</p>	<p>本人が書いていない。</p> <p>しかも、発見された場所や状況も説明していない。</p> <p>発見された場所や状況も説明していないことの再確認。</p>	<p>本来の彼の発言は、「村長も署名している」である。</p> <p>本当は、彼は、以前に既に説明していた。</p> <p>本当は、取材者から「どこか地図で示せますか」と聞かれたので、「出来ません。」と答えたものである。</p>
<p>この村では全ての宣誓供述書を村長が一人で書いているのだという。</p> <p><u>怪しそうな村長の映像</u> 当初、多忙であることを理由に取材を拒否していた村長が、ようやく話を聞かせてくれることになった。</p> <p>【アバタン村カルロス村長】 (音声:現地語)略 (字幕:日本語) 『確かに宣誓供述書に「日本人の骨だ」と書いたのは私です』</p>	<p>本人では無く、村長が一人で勝手に書いている。</p> <p>いかにも、悪そうなイメージの怪しげな村長。</p> <p>村長も自分が書いたと認めている。</p>	<p>真実は、宣誓供述書は、本人、弁護士等が立会いの元、村長も署名をしているものであって、村長が一人で書いているわけではない。</p> <p>真実は、村長は「私が署名しているものは日本人の骨だ。」と答えたもの。</p>

<p>「日本人の骨」となぜ言えるのかと問うと、じょじょに本心を口にしながら始めた。</p> <p>【アバタン村カルロス村長】 (音声:現地語)略 (字幕:日本語)</p> <p>『宣誓供述書といたってその骨がどこの骨なのかー 私には確認しようがない』 『私にはそれをチェックすることなんて無理だ』</p> <p>【NHK 側スタッフ】(音声:現地語)略 (字幕:日本語)『それでは供述書は意味がまったくないじゃないですか』</p> <p>【アバタン村カルロス村長】 (音声:現地語)略 (字幕:日本語)</p> <p>『だって怒られるんだよ』 『みんな遠いところから大変な思いをして骨を持ってくるんだから 供述書を書かないといたら 私が怒られるよ』 <u>困り顔の村長の映像(別シーン)</u></p>	<p>問い詰められて、いよいよ、本当のことを言い始めた。</p> <p>村長は、どこから持って来た骨か確認せず、チェックもしていない。</p> <p>供述書は全く意味が無い。いい加減なもの。</p> <p>村長は、村民から怒られるのが嫌で、適当に、一人で供述書を書いている。</p>	<p>単に、被告の勝手なナレーションであって、村長は、本心も何も、初めから丁寧に話をしていた。</p> <p>本当のところ、村長は「私は、日本人の骨であると、断定はできない。」と答えたもの。</p> <p>捏造インタビューと、間違った説明によって作られた結論である。</p> <p>本当は、村長は事前に十分、村民と話をしており、勝手に書いているのではない。村長も署名をしなかったら怒られると言っている。</p>
<p>空援隊がお金を払うのは、宣誓供述書に「日本人の骨」と書かれた場合だけだという。</p> <p><u>字幕:カルロス村長が書いた宣誓供述書</u></p> <p>村長が書いた「宣誓供述書」を入手した。遺骨の発見状況などを確認することもなく、これまでに2000体以上の遺骨を「日本人の遺骨」として提出したという。</p> <p><u>字幕:遺骨 2000 体</u></p>	<p>お金目当てに、「日本人の骨」と勝手に書いている。</p> <p>確かに、村長が勝手に書いた宣誓供述書が存在した。</p> <p>2000 体もの大量の遺骨を確認することなく、「日本人の骨」として、空援隊に提出した。</p>	<p>本当は、「日本人の骨」であることを宣誓供述書に署名した場合。</p> <p>実は、宣誓者の署名も有り、村長が一人で書いたものではないのだが、被告はそれを隠し、更に署名欄をぼかして見えなくして紹介している。</p> <p>実は、原告は、アバタン村から、862 体しか収集していない。</p>

<p><u>字幕: 食い違う数字の謎</u> 空援隊への委託後、激増するフィリピンからの遺骨収集。記録に残された戦没者の数と、大きく食い違う事態も起こりはじめている。</p> <p><u>字幕: 1366 体</u> フィリピン中部のミンドロ島。一昨年はゼロだった遺骨の数が、去年、一気に1366体に跳ね上がった。しかし、国が戦史や生還者の証言をもとにまとめた資料では、ミンドロ島での戦没者は「438人」と推定されている。なぜ国の記録の3倍以上の遺骨が日本に送られてきたのか。</p> <p><u>438(資料のズーム)映像</u></p>	<p>既に、戦没者の記録とも違う数の遺骨が、収集され始めている。</p> <p>遺骨収集数が跳ね上がった上に、国の資料に有る戦没者の数の3倍以上の遺骨が収集されている不思議な実態。それは、何故だろう。</p>	<p>実は、食い違いがあっても不思議なことでは無い。</p> <p>実は、映像の資料は、国がまとめた資料では無い。遺族会が発行している書籍のデータである。他に資料が無く、そもそも、国の把握している数字自体が不確かである。</p>
<p><u>字幕: 遺骨盗難犯への公開尋問</u> 実はこの島でも遺骨の盗難が続発。今年6月には、墓から遺骨を運び出だそうとした男が捕まった。</p> <p>【骨を盗まれた被害者】 (音声: 現地語)略 (字幕: 日本語) 『お前がやったんだろう お前を許さないぞ』</p> <p>【骨を盗もうとした男】(音声: 現地語)略 (字幕: 日本語)『他のやつもやっている だろう』</p> <p>【骨を盗まれた被害者】 (音声: 現地語)略 (字幕: 日本語) 『四の五の言うな』</p> <p>男は、ある人物が「日本兵の遺骨を買い取っている」と言う噂を聞き、盗みを働いたという。</p>	<p>ここでも盗難が多数あったのか。ということは、その盗難遺骨が、数字の激増の理由なのか。</p> <p>いかにも悪そうな犯人と、怒る老人被害者。</p> <p>男は、日本兵の遺骨として骨を売るために盗んだ。 日本兵の遺骨を買い取っている人物がいる。</p>	<p>真実は、盗難事件と、原告の遺骨収集数とは、全く無関係。</p> <p>事実、原告は遺骨を買い取っていない。</p>

<p>その人物を捜して3日目。 接触に成功した。 <u>怪しげな男の映像</u></p> <p>【NHK 側スタッフ】(音声:現地語)略 (字幕:日本語)『こんにちは』</p> <p>男性は私たちに1枚のカードを差し出した。空援隊スタッフが携帯するIDカード。 この島で行われる遺骨収集の責任者の一人だった。</p> <p>【NHK 側スタッフ】(音声:現地語)略 (字幕:日本語)『去年と今年で遺骨をどれくらい集めましたか』</p> <p>【空援隊スタッフ】(音声:現地語)略 (字幕:日本語)『ミンドロだけで数千かな』</p> <p>【NHK 側スタッフ】(音声:現地語)略 (字幕:日本語)『日本政府はミンドロ島での戦没者は一およそ 450 人と推定しているが あなたが集めた数と食い違うじゃないですか』</p> <p>【空援隊スタッフ】(音声:現地語)略 (字幕:日本語)『ミンドロの周りにはあっちこっちにも島があるからさ』 『空援隊は何も悪くないよ 問題があるなら実際に骨を集めた人間が悪いんだ 彼らのやっていることをすべて監視出来ないよ』</p> <p>盗みは指示していないという男性。仮に、盗まれた遺骨が持ち込まれたとして</p>	<p>やはり、遺骨を買い取っている人物が居たのか。</p> <p>遺骨を買っていたのは、空援隊のスタッフだったのか。</p> <p>追及する取材者。</p> <p>説明するスタッフ。</p> <p>「盗まれたフィリピン人の骨」と「日本人の骨」と区別する仕組</p>	<p>単なる犯人の噂話の証言を事実として断定しており、本当は、盗難事件と、原告スタッフは、無関係</p> <p>被告は、日本人であることの根拠となる鑑定</p>
--	--	--

<p>も、「日本人の骨」と区別する仕組みがあると主張する。</p> <p>【空援隊スタッフ】(音声:現地語)略 (字幕:日本語)『最後に専門家が鑑定して証明するんだよ 遺留品なんかが出ればおれでもわかるけど 専門家が死亡した年などきちんと調べているんだ』</p>	<p>みがあるのか。 それは、どんなことか。</p> <p>最後に専門家の鑑定がある。</p> <p>科学的な鑑定をしているようだ。</p>	<p>と、日本人であることの蓋然性の鑑定を混同させている。</p> <p>実のところ、専門家の鑑定とは、蓋然性の鑑定のことである。</p> <p>それは個体数識別の一環である。</p>
<p><u>スタッフの顔のストップモーション・ズーム映像</u> <u>字幕:専門家の鑑定</u> 空援隊が集めた遺骨は一か所にまとめられ、専門家の鑑定によって「日本兵のものかどうか」最終的に判断されるという。</p>	<p>専門家の鑑定によって「日本兵のものかどうか」最終的に判断される。</p>	<p>本当は、日本兵のものかどうかでは無く、日本兵であると認められるかどうかの判断。</p>
<p><u>字幕:専門家の鑑定とは</u> 専門家の鑑定とはいかなるものなのか。追跡チームは首都マニラに乗り込んだ。 そして、遺骨の鑑定を引き受けているという人物を直撃した。国立博物館学芸員のアーネスト・フィルム氏。 「日本兵の遺骨」をどう選別しているのか。その答えは「驚くべき」ものだった。</p> <p>【フィルム氏】(音声:英語)略 (字幕:日本語)『私は「日本人の骨だ」と言った事はありません』 『人間の骨を肉眼で見ても どの国の人間かわかるはずがありません』</p> <p>【NHK 側スタッフ】(音声:英語)略 (字幕:日本語)『つまり・・・』</p>	<p>鑑定方法への期待</p> <p>「日本人であること」の鑑定をしている人。 薄暗く、殺風景な部屋。 驚くべきとはなんだろう。</p> <p>日本人の骨だと言っていない？ フィルム氏は、骨の国籍が分からない。</p> <p>つまり</p>	<p>正しくは、「日本人であることが認められるかどうか」蓋然性を鑑定している人。</p> <p>実際、彼は「日本人の骨であること」を断定しているわけではない。 真実は、フィルム氏は、フィリピン政府として「日本人の骨であること」を認める証明書を発行している。</p>

<p>【フィルム氏】(音声:英語)略 (字幕:日本語)『無理です 無理』</p> <p>字幕: 鉱物学 そもそもフィルム氏の専門は「鉱物学」。彼の仕事は、集まった遺骨の数を数えることが中心だという。</p> <p>【フィルム氏】(音声:英語)略 (字幕:日本語)『鑑定していません』 『全は「宣誓供述書」が根拠です』</p> <p>【NHK 側スタッフ】(音声:英語)略 (字幕:日本語)『そのことは日本の厚生労働省や空援隊は知ってるんですか』</p> <p>【フィルム氏】(音声:英語)略 (字幕:日本語)『当然知っています』</p>	<p>フィルム氏は、鑑定出来ない。無理だと強調。</p> <p>鉱物学と遺骨鑑定とは、全く違う分野だ。フィルム氏は、全く専門外の人。単に遺骨の数を数えているだけ。 研究室には見えない部屋。</p> <p>結局、鑑定をしていない。宣誓供述書だけが全て。</p> <p>厚生労働省や空援隊は、鑑定できないことを知っている。</p>	<p>フィルム氏は、目視では、誰も国籍を鑑定できない話を淡々としているのに、「出来ない」ことを字幕で強調。</p> <p>実は、フィルム氏は、1981年から日本の遺骨収集に関わる専門家である。個体数識別と蓋然性の鑑定を行っており、単に数を数えているだけでは無い。</p> <p>真実、彼が「鑑定していない」と言っているのは、「科学的鑑定」の意味であり、彼は、宣誓供述書を元に、併せて「蓋然性の鑑定」を行っている。</p>
<p>「形ばかりの鑑定」と「いい加減な宣誓供述書」。</p> <p>3週間にわたる追跡から見えてきたのは、厳正であるべき遺骨収集のずさんな実態だった。</p>	<p>まさに「形ばかりの鑑定」と「いい加減な宣誓供述書」だ。</p> <p>空援隊の遺骨収集事業は、非常に杜撰でいい加減である。</p>	<p>「蓋然性の鑑定」について何ら説明されておらず、真実は、宣誓供述書がいい加減という「根拠」自体が間違っている。</p> <p>偏向・虚偽報道。</p>
<p>「フィリピン人の遺骨が日本兵のものとして送還されている」という疑惑。</p> <p>もはやそれは疑いようのない事実であると私には思えました。</p>	<p>鎌田氏の言っている通り、「フィリピン人の遺骨が日本兵のものとして送還されている」疑惑は疑いようのない事実だ。</p>	<p>間違った根拠による間違った結論を更に、キヤスターのコメントで、決定づけている。</p>

<p>私たちが向かったのは東京日本橋にある空援隊の本部。 事務局長の倉田宇山氏に、「このことをどう受け止めるのか」問いました。</p> <p>【NHK 鎌田解説委員】(音声: 日本語) 『盗難騒ぎが各地で起きていて、その骨がですね、空援隊の…』</p> <p>【空援隊倉田氏】(音声: 日本語) 『うちが盗んだということになっているんですよ』</p> <p>【NHK 鎌田解説委員】(音声: 日本語) 『空援隊が盗んだかどうかは別として空援隊の収集事業の中に混じっているのか、つまりそういう疑惑が今、それについて…』</p> <p>【空援隊倉田氏】(音声: 日本語) 『はっきり一言で言っときますけど、その可能性に関しては、盗んだものに関しては全くないと言えます』</p> <p>【NHK 鎌田解説委員】(音声: 日本語) 『空援隊がそういうことをやらせていると言っているわけではなくて、つまり遺骨を盗難した人間が逮捕されて、逮捕された人間の動機というのが、空援隊が骨を集めているからということなんです。つまり、結果的にそういう犯罪が起きているという形になってしまっているということ、これどうですか』</p> <p>【空援隊倉田氏】(音声: 日本語) 『なるほどね。それはあり得るかもしれませんがね。実際問題として。ですから現在今、先ほど申し上げましたけど、末端まで行くとうちが直接管轄している人間</p>	<p>空援隊は、どう説明するのか。</p> <p>可能性は無いと言っているが、本当に無いのか、怪しい。</p> <p>鎌田氏の執拗な追及。</p> <p>結果的に、空援隊が犯罪を引き起していることを認めた。</p> <p>空援隊は、末端までスタッフを</p>	<p>本当のところ、取材時に、原告は、「このこと」の内容を具体的に説明していない。</p> <p>遺骨の盗難と原告は無関係。</p> <p>実は、実際問題として、手を広げれば問題も増えてくるのは当然の話なので、末端スタ</p>
---	---	---

<p>だけで300人ぐらいいるわけですね。それがまあピラミッド型の組織形態になっ てはいるんですけども、各地各地の全ての スタッフの顔や名前まで知っているわけでは、 私らそこまで把握出来ていないですから』</p> <p>【NHK 鎌田解説委員】(音声:日本語) 『仮に盗掘されてきたものがそのまま焼か れて日本に持ってこられるということにな ると、あるいは盗掘じゃなくても混じった 物が日本に行くとなると、フィリピンに も遺族の人たちいるわけですね。その感 覚が欠落しているのではないかと、足り ないのではないかと』</p> <p>【空援隊倉田氏】(音声:日本語) 『そうですね。確かにフィリピンの人 たちに対する配慮というのは、そういう 面から見るとかなり低いかもしれません。 ただそれを気にしてしまうと、もう遺骨 収集は出来ませんよ。はい。実際問題 として。今、仮に我々がこうやって NHK さんにも叱られるし、もうやめましょ うと言って止めたら、来年から、フィリ ピンから遺骨帰ってこないですよ。』 『こんなの全部本来国がやること ですよ。はい、私もそう思います。民間 でやるべきことじゃないと思う。でも、 これもし我々が声あげなかったら国が やりましたか？今までのまんまで、 フェイドアウトしていったんじゃない んですか？』</p> <p>【NHK 内山ディレクター】(音声:日本語) 『この体制組んだときに、こういう ことが起きることは当然想定なさ っていると考えていいんですか？』</p>	<p>管理できていない。 末端が、盗んでいる？</p> <p>追及する鎌田氏。 フィリピン人にも、遺族が いる。</p> <p>空援隊は、フィリピン人遺族に 配慮していない。 空援隊は、開き直った。</p> <p>国がやるべきことを民間が やっているのだが、空援隊の 言っていることの意味が、今 一つ分からない。</p> <p>初めから、盗難遺骨が混入 することを予測していたのか？</p>	<p>ツフの認識まで、管理 が行き届いていない かもしれないという、 原告の譲歩した回答 をまるで管理できて いないかのように、被告 が編集したもの。(続く 言葉を切っている)</p> <p>仮に、混じっていたら という話への回答であ り、本来、盗難遺骨と 原告は無関係である。 開き直りでは無く、事 実を述べたものである が、「背景」の説明が 無く、誤解を生む編集 がされている。 これらは、別の事象を 無理やり繋ぎ合わせ たもの。</p> <p>別の事象を無理やり 繋ぎ合わせた編集で、 結果、「こういうこと」 の意味をすり替えてい</p>
--	---	--

<p>【空援隊倉田氏】(音声:日本語) 『はい。そこは確信犯です。』</p> <p>【NHK 鎌田解説委員】(音声:日本語) 『確信犯?』</p> <p>【空援隊倉田氏】(音声:日本語) 『はい』</p>	<p>空援隊は、遺骨の盗難事件やフィリピン人の遺骨が混入することを認めた。</p>	<p>送している。</p> <p>実は、新方式への批判や、マスコミに取り上げられることが、想定内の範囲だと答えたもの。</p> <p>次に続く言葉が切られている。</p>
<p>『倉田氏は、戦後65年たった今、遺骨収集を進めていくにはこの方法しかありえないと主張しました。</p> <p>では、空援隊に委託し、その収集方法を認めてきた厚生労働省は、どう受け止めるのでしょうか。』</p> <p>【NHK 鎌田解説委員】(音声:日本語) 『日本兵以外の骨が混じってもある程度仕方がないと。つまり遺骨が日本に戻ってくることを優先するわけだからその中に混じっても仕方がないという風なおっしゃり方をするんですよ。やっぱり国もそういう同じ考えですか』</p> <p>【厚労省梅原外事室長】(音声:日本語) 『いや、それはないです。それはないです。やはり先ほどいいましたように、やはり判断がつかないものについては持ち帰るべきではないと思いますし、はい。多ければ良いとは全然考えていませんので、はい』</p> <p>【NHK 鎌田解説委員】(音声:日本語) 『今鑑定されている人が、自分は専門家ではないという風におっしゃっていて、そもそも鑑定なんかできないという</p>	<p>空援隊は、ずさんな方法しかない、開き直っている。</p> <p>では、国は? (どうせ、役人答弁するに違いない。)</p> <p>空援隊は、骨が混じることを容認している。</p> <p>番組に出ている部分以外で、そのような発言があったのかもしれない。</p> <p>一応、役人は否定している。</p> <p>空援隊の遺骨鑑定人は、専門家では無い。 鑑定できない人。</p>	<p>現場の実情を加味した最も有効な方法というのが真実。</p> <p>実は、容認しているとは言っていないのに、さも言っていたかのようなコメントである。</p>

<p>風におっしやっている、そういうことはご存知だったのですか』</p> <p>【厚労省梅原外事室長】(音声:日本語) 『フィリピン人と日本人の区別がつかないとおっしやっていたことは承知しております』</p> <p>【NHK 鎌田解説委員】(音声:日本語) 『そうするとそれは鑑定の意味をなさないんじゃないですか』</p> <p>【厚労省梅原外事室長】 <u>絶句しているような映像、顔のズームアップ</u></p> <p>『つまり数を鑑定するということが前提なんでしょうけれども』</p> <p>『基本的に戦争を始めた国家が、国家の行為として行ってしまったわけですから、国家が国家としての責任をきちんと果たしていないようなようにも思えるんですが、いかがですか』</p> <p>【厚労省梅原外事室長】(音声:日本語) 『当然おっしやる通り、遺骨収集については国の責務であるということについては十分承知しております』</p> <p>『改めるべきところは改善をしていきたいと思えますけれど、今、時間が非常に短い話なので具体的に何をするかと、どうするかということと言われてもすぐに、右です、左です、という形での回答は申しかねますので』</p>	<p>よく分からない答弁。</p> <p>やはり鑑定は意味をなしていない。</p> <p>絶句しているということは、認めたとのこと。</p> <p>いつもと同じく、国家が責任を果たしていない。</p> <p>差しさわりの無い答弁。</p> <p>苦し紛れの役人答弁。 当を得ない答弁。</p>	<p>被告の都合に合うような編集が成されている。</p> <p>実は、絶句したのではなく、回答をする前に、鎌田氏が別の質問をしたシーン。</p>
<p>厚労省を取材して思ったのは、国が責任を果たしていないということです。</p>	<p>国のことは、よく分からない。</p>	

<p>国家の名のもとに戦争を始め、国民に犠牲を強いた以上、遺骨収集もまた国家の責任として行わなければならない。にも拘わらず、いわば民間に丸投げするという今のやり方では、国がその責任と真剣に向き合っているとはどうしても私には感じられないのです。</p> <p>では、翻って私はと言えば、戦争について考えるのは毎年8月だけ。この問題と真剣に考えてきたかという内心恨悒たる思いです。</p> <p>遺骨収集。</p> <p>それはこの国、そして私たち自身があの戦争とどう向き合っていくのかを。常に問いかけているのです。</p> <p><u>字幕 追跡は続く</u></p> <p>(終)</p>	<p>国は責任逃れをしている。民間に丸投げは良くないことだ。</p> <p>よく分からないコメント。</p> <p>差しさわりの無い、まとめ。</p>	<p>実際は、丸投げでは無い。</p> <p>無理やり公益性を持たせようとしたコメント。</p> <p>追跡は番組自体が終わってしまったので、終了？</p>
--	---	--